

2021年度第5回理事会次第

日時：2022年2月26日（土） 13:30～17:00

場所：オンライン会議（Zoom）

出席者（全員テレビ会議による出席）

理事：総数27名中

松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長 袴田登喜造副会長兼専務理事 横山幸子副会長
永谷喜一郎常務理事 大野明敏常務理事 三木容子常務理事 平井宏治常務理事
佐橋朋木常務理事 近藤正晃ジェームス常務理事 小風明常務理事 源洋子理事
成山悟史理事 田口亜希理事 松島愛理事 上之園正一理事 酒寄貴瀬理事
穂苅美奈子理事 寺澤良悦理事 田中僚一郎理事 横沢聡理事 尾崎和郎理事
高橋信吾理事 山下晃弘理事 仲本渚理事 五十嵐治人理事 田中辰美理事

以上出席27名

監事：総数2名中 香西俊輔 岸高清 以上出席2名

議事録署名人：松丸会長、田村副会長、袴田副会長兼専務理事、横山副会長、香西監事、
岸高監事

袴田専務理事が13時30分に理事27名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

松丸会長が、オンライン会議システムにより、出席者の音声が即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

1 会長あいさつ

ロシアがウクライナに侵攻しています。心が痛みます。スポーツの世界は、国際政治の世界とは全く切り離れたものですので、これからも世界の人々と仲良く、この競技を通じて親交を深めて参りたいと思っております。新型コロナウイルスについては、感染者数と死亡者数が第5波よりも格段に多く、協会としては今回の理事会もオンラインで開催いたします。本日は、次年度に向けての予算案や規程改定などたくさん議題がございます。円滑な進行にどうぞご協力をお願いいたします。

<審議事項>

2 総務委員会

2.1 2022年度予算

袴田専務より、p01「収支(損益用)予算書(案)」に基づいて説明がなされた。

松丸会長より、追-01「SUPPORT TO ASC MEMBER FEDERATIONS」に基づいて、ASCが各国加盟団体へ、用途を限定した3,000米ドルの補助金を出してくれることになった。当協会としては、該当事項であるホームページの刷新・改善のために補助金を申請し、ホームページのリニューアル予算の補助としたい。との説明がなされた。

議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。

2.2 本部及び委員会の運営に関する規程

松丸会長より、画面共有「本部及び委員会の運営に関する規定新旧対照表」に基づいて説明がなされた。

議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。

- 2.3 ジョイントマーケティングの契約
松丸会長より、p7「JOC×NF ジョイントマーケティングプログラムに関する覚書」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 2.4 寄付金規程
小風常務理事より、p20「寄付金取扱規程制定の件」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 2.5 資金運用規程
小風常務理事より、追-5「資金運用規程制定の件」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 2.6 ライフル銃の所持に関する適格証明取り扱いについて
袴田専務理事より、p31「ライフル銃の所持に関する適格証明取り扱いについて」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 3 推薦委員会
審議事項なし
- 4 国体委員会
- 4.1 佐賀国体における50m射座数の削減について
平井常務理事より、追-p9「令和3年4月19日付けS実第48号文書の取扱いについて（依頼）」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 5 選手強化委員会
- 5.1 2022年度強化指定選手選考基準及び海外派遣要綱
佐橋常務理事より、画面共有「2022年度強化指定選手選考基準及び海外派遣選手選考要綱(案)」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 6 ジュニア育成委員会
- 6.1 2022年度育成アスリート・ナショナルタレント指定基準及び海外派遣要綱
三木常務理事より、p41「2022年度育成アスリート・ナショナルタレント指定基準及び海外派遣要綱(案)」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 6.2 FISU ワールドユニバーシティゲームズ・ISSF ワールドカップジュニア(ズール大会)選手選考
三木常務理事より、p46「FISU ワールドユニバーシティゲームズ・ISSF ワールドカップジュニア(ズール大会)選手選考について」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7 競技運営委員会
- 7.1 公認審判規程改定
松丸会長より、p48「公認審判員規程改定案」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.2 段級審査規程改定
松丸会長より、画面共有「段級審査規程」に基づいて説明がなされた。

- 議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.3 補助対象大会における経費の基準設定について
松丸会長より、p51「補助対象大会における経費の基準設定について」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.4 検定基準_検定要領_公認記録登録料
袴田専務理事より、p53「検定基準の改定」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.5 2022 事業計画案
松丸会長より、画面共有「2022 年度 主催競技会計画(案)」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.6 射場公認
尾崎理事より、p58に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.7 公認審判員
尾崎理事より、p59「公認審判員について」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.8 電子標的再公認
尾崎理事より、p追-20「電子標的の再公認について」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 7.9 ジュリー講習への参加要件
松丸会長より、口頭にて、
2月27日のジュリー講習会に参加される70歳以上の受講者の扱いを含め、今後の年齢制限やジュリー講習会の開催頻度について検討し、5月理事会に諮りたい、との提案がなされた。
議長がはかり、全員異議なく5月理事会に諮ることになった。
- 7.10 50m3 姿勢 60 発の日本記録としての扱い
袴田専務理事より、50m3 姿勢 60 発は、現在日本記録公認対象となっていないため、4月1日以降は日本記録対象として判断して良いか、との質問がなされた。
松丸会長より、50m3 姿勢 60 発は、4月1日以降日本記録として扱う。5月の理事会で明文化する、との回答がなされた。
議長がはかり、全員異議なく承認された。
- 8 普及・生涯スポーツ委員会
- 8.1 認定コーチ制度要項改正
永谷常務理事より、p60「コーチ制度要項改定案」に基づいて説明がなされた。
議長がはかり、全員異議なく説明案の通り承認された。
- 9 マーケティング委員会
審議事項なし
- 10 コンプライアンス委員会
審議事項なし

<報告事項>

- 11 会長報告
 - 11.1 将来構想中間報告
松丸会長より、画面共有「将来構想（中期計画）中間報告」に基づいて報告がなされた。
 - 11.2 ナショナルコーチアカデミー、国際人養成アカデミー候補者選考
松丸会長より、口頭にて、ナショナルコーチアカデミー、国際人養成アカデミーの受講候補者を選ぶ基準がなかったため、担当委員会、部会で選考基準を決めていきたい、との報告がなされた。
- 12 総務委員会報告
 - 12.1 モダンイズ部会設置
横山副会長より、口頭にて、会務の効率化、デジタル化の推進を実質的に担う部会としてモダンイズ部会を設置する、との報告がなされた。
 - 12.2 新組織表報告（変更組織：総務委員会、選手強化委員会、ジュニア育成委員会、競技運営委員会）
松丸会長より、画面共有「日本ライフル射撃協会組織図」に基づいて報告がなされた。
- 13 推薦委員会報告
 - 13.1 コロナ対応としての推薦適格緩和措置の一元化
田中僚一郎理事より、p 追-21「推薦 BulletinNo, 55」に基づいて報告がなされた。
 - 13.2 審査結果報告
大野常務理事より、p67「11 月の推薦委員会審査結果報告」に基づいて11月から1月までの審査結果報告がなされた。
また、大野常務理事より、2月までは紙申請も受け付けていたが、3月は推薦委員会がないため、4月以降の申請はニチラネット経由のみになる、との報告がなされた。
 - 13.3 空気けん銃の所持に関する推薦基準
田中僚一郎理事より、p 追-21「推薦 BulletinNo, 55」に基づいて報告がなされた。
高橋理事より、再推薦の際の1回目の基準点が525点では厳しい。緩和措置があるならば伺いたい、との質問がなされた。
田中僚一郎理事より、当面は緩和措置として、再推薦の際の1回目の基準点については510点で対応すると推薦委員会で共有している。ただし、いつまでというのは答えることができない、との回答がなされた。
藤井彌事務局長より、コロナ禍にある当面の緩和については、協会の中での判断で支障はないという理解で正しいか、との質問がなされた。推薦要綱改定においては、事前に相談するように警察庁から依頼があった。
松丸会長より、再推薦の際の1回目の基準点を510点とする対応については、警察庁の了解をとってからの適用を開始する、との発言がなされた。
 - 13.4 推薦基準要綱改定案
大野常務理事より、p 追-23「推薦基準要綱の改定について」に基づいて報告がなされた。
- 14 国体委員会報告
 - 14.1 栃木国体実施要項の変更について
平井常務理事より、追-27「[26] ライフル射撃競技」に基づいて報告がなされた。
田中僚一郎理事より、リハーサル大会がなかった栃木国体において、新しいISSFルールで行えるのか、との質問がなされた。
平井常務理事より、栃木国体までは時間があり、新しいISSFルールで出来るようになる、との回答があった。
- 15 2020 東京オリパラ準備運営本部報告
袴田専務理事より、口頭にて2022年3月31日で同本部が解散する、委員会規程についてもオリパラに関する条項は削除される、との報告がなされた。
- 16 選手強化委員会報告
 - 16.1 ワールドカップ カイロ大会派遣に関して
佐橋常務理事より、p70「ワールドカップ カイロ大会派遣に関して」に基づいて報告がなされた。
 - 16.2 ネクストシンボルアスリート制度契約延長依頼への対応について
源理事より、p 追-36「JOC2021年ネクストシンボルアスリート制度契約延長依頼への対応について」に基づいて報告がなされた。
- 17 ジュニア育成委員会報告
 - 17.1 FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）候補選手合宿について
三木常務理事より、p71「FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）候補選手合宿について」に基づいて報告がなされた。
- 18 競技運営委員会報告
 - 18.1 ルールの翻訳
松丸会長より、口頭にて、今までルールの翻訳については謝金を払わなかったが、今回の新ルールの改定は翻訳量が多く、無償の範囲を超えているので、規程に則って謝金を払う予定である、との報告がなされた。
 - 18.2 競技会記録の提出のアップロード方法
松丸会長より、口頭にて、競技会記録の提出はニチラネットからのアップロードを競技運営委員会から依頼文を出しているが、難しい方もいると理解している。
アップロードによる提出が出来ない場合は、kyogi@riflesports.jpに送っていた
だきたい、との報告がなされた。
 - 18.3 競技運営委員会全国説明会開催のお知らせ
松丸会長より、口頭にて、3月12日（土）に加盟団体競技運営担当者向け説明会を行う、との報告がなされた。
- 19 普及・生涯スポーツ委員会
報告事項なし
- 20 マーケティング委員会
 - 20.1 マーケティング委員会プロジェクト概要
近藤常務理事より、画面共有「デジタル射撃/eスポーツ射撃プロジェクト」に基づいて報告がなされた。
- 21 コンプライアンス委員会
 - 21.1 ライフル射撃協会役員選考規程検討
小風常務理事より、p73「役員選考規程検討」に基づいて報告がなされた。

21.2 倫理規程検討

小風常務理事より、p78「倫理規程の検討」に基づいて報告がなされた。

22 会務報告

特になし

17時30分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2022年2月26日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事

松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



代表理事

横山幸子

横山幸子



監事

香西俊輔

香西俊輔



監事

岸高 清

岸高 清



以上

以上

